

柏ビレジ自治会便り

2017/9月号



柏ビレジ・ニュース

2017年9月30日
柏ビレジ自治会発行
自治会事務局(自治会館)
TEL 04-7132-1925
FAX 04-7132-1965

柏ビレジ自治会ホームページ <http://kashiwa-village.com/>



Kashiwa Village



夏祭り 花火大会

花火大会はなぜ夏？

夏といえば花火大会。「暑い！花火はもっと涼しい時にやってくれたらいいのに！」と思っている方も多いと思いますが、なぜ夏に花火大会が集中しているのか、そもそもの花火大会の意味や由来を調べてみました。(冬だと寒いから、という理由ではありませんでした)

8月18日・19日に夏祭りが開催されました。18日の前夜祭は、子供会ゲーム・和太鼓の演奏・輪踊りが予定通り進み楽しく終えられました。19日の本祭りは、花車・子供神輿がビレジの中を練り歩き祭りが大いに盛り上がりました。夕方前から激しい雨が降り始めましたが、それでも雨の合間を縫って、元気いっぱいの輪踊り、雨足を蹴散らす和太鼓演奏が続きました。呼び物の花火は9月2日(土)に延期され、当日は好天に恵まれ、大勢の観客の前で盛大に打ち上げられ、皆で夏の終わりの行事を満喫しました。8月17日の準備から、9月3日の最後の片付けまで、自治会・ビレジサポート・新樹会・踊りの会・子供会の百数十人の皆さんが積極的に協力して下さったおかげで今年も盛大に夏祭りを終えることができました。ご協力に感謝すると共に、ビレジ住民の結束が一層強まったことと思います。(事業部 伊藤允彦)

「花火大会の意味や由来」…夏の風物詩・花火は、そもそもは送り盆の時期に、魂の鎮魂のために打ち上げられたものだとされています。お盆の期間は、一般には13日から16日の4日間で、一般的に「お盆とは、年に一度祖先の霊が私たちのもとに帰ってくる期間」とされています。13日に先祖の霊が迷わず当家に來られるように迎え火を焚くことから13日を迎え盆、16日に先祖の霊を送り出すための送り火を焚くことから16日を送り盆といいます。もともとは送り火として、ご先祖様をお送りするための花火でしたが、いつしか夏の観賞メインのイベントに育って来たんですね。日本の伝統行事として捉え直して、一発の花火にも魂への祈りが込められていると思うと、花火を見る自分の気持ちも、綺麗なものに対する感動に加え、少し厳かな感じになりそうです。



近隣公園グラウンド西側の並木をご存知ですか？

柏ビレジには大通りに中心部から南方向、花野井交番までイチョウ並木、北方向、水辺の公園方面にケヤキ並木、西方向にプラタナス並木、東方向にトウカエデ並木があります。

今回は、並木について、柏ビレジのトリビア・ヒストリーとして、第1支部、牛山様から寄稿がありましたので掲載いたします。

『柏ビレジの大切な場所の一つに、様々な野鳥が訪れる水辺の公園があります。また、余り知られていないかもしれませんが、「クス(楠)の並木」があります。自治会館前にあるグラウンドの西側の法(のり)下に接する道路脇に植えられています。このグラウンドは、もとは中学校予定地で更地になっていましたが、当時の緑化代表委員の方々が市の教育委員会と話し合い、植樹が決まったようです。

昭和天皇が亡くなられた1989年(平成元年)、昭和天皇の誕生日、4月29日がみどりの日(現:昭和の日)として祝日になったこともあり、同年5月28日、植樹記念の集まりがありました。私も根元の穴に移植ごてで3杯程の土をかけさせてもらいました。土地との相性がよかったのか、クスの木は立派に育ち、今日の立派な姿になっています。

短い並木ではありますが、「〇〇並木」、「〇〇の小径」などと名前をつけたら素敵だと思います。(前広報部長 小野伸一)